

### 第3章 地区別構想

#### 1. 地区別構想とは

##### (1) 目的

地区別構想は、全体構想で示した都市整備の方針を受け、各地区のまちづくりの主要な課題の抽出やまちづくりの目標設定を行い、市民・企業・行政との協働のまちづくりを展開していくための指針とするものです。

##### (2) 地区区分

地区区分は、自治会の構成単位を考慮し、中条地区、築地地区、乙地区、黒川地区の4区分とします。

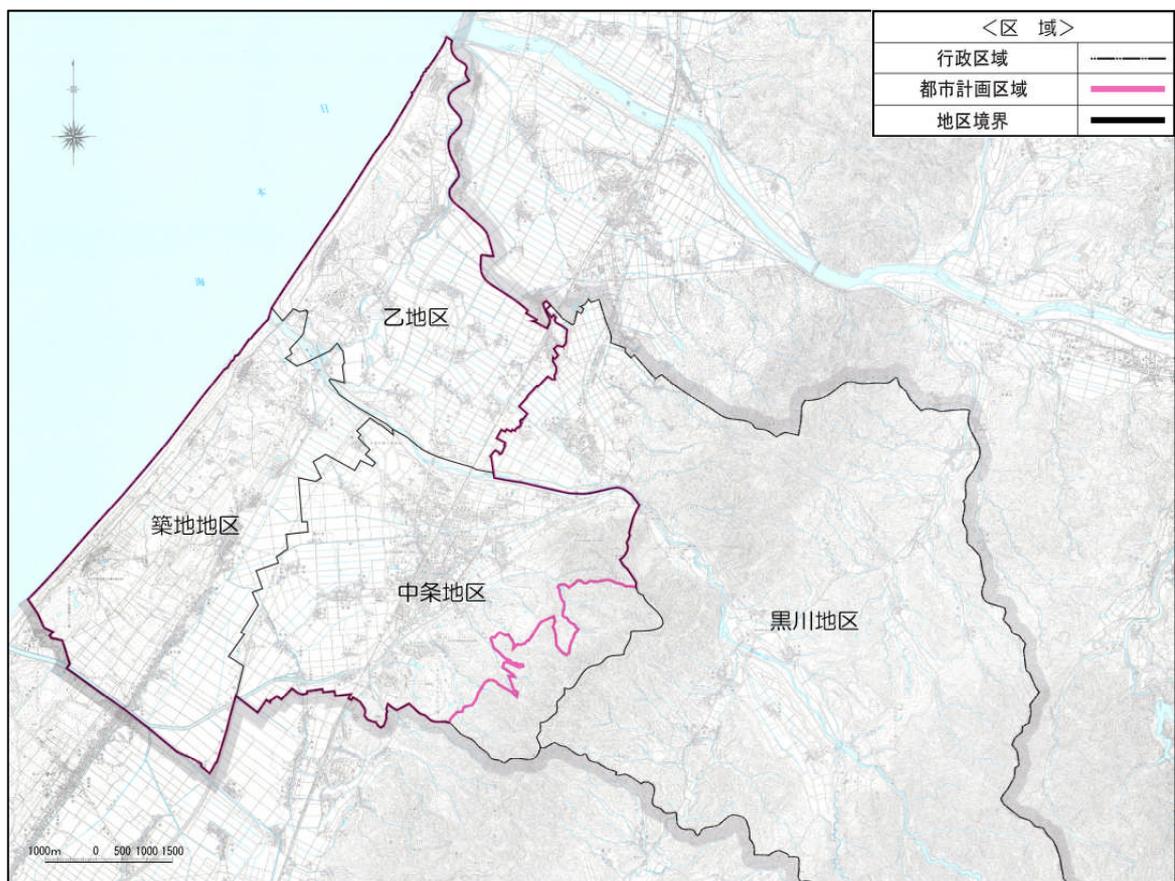
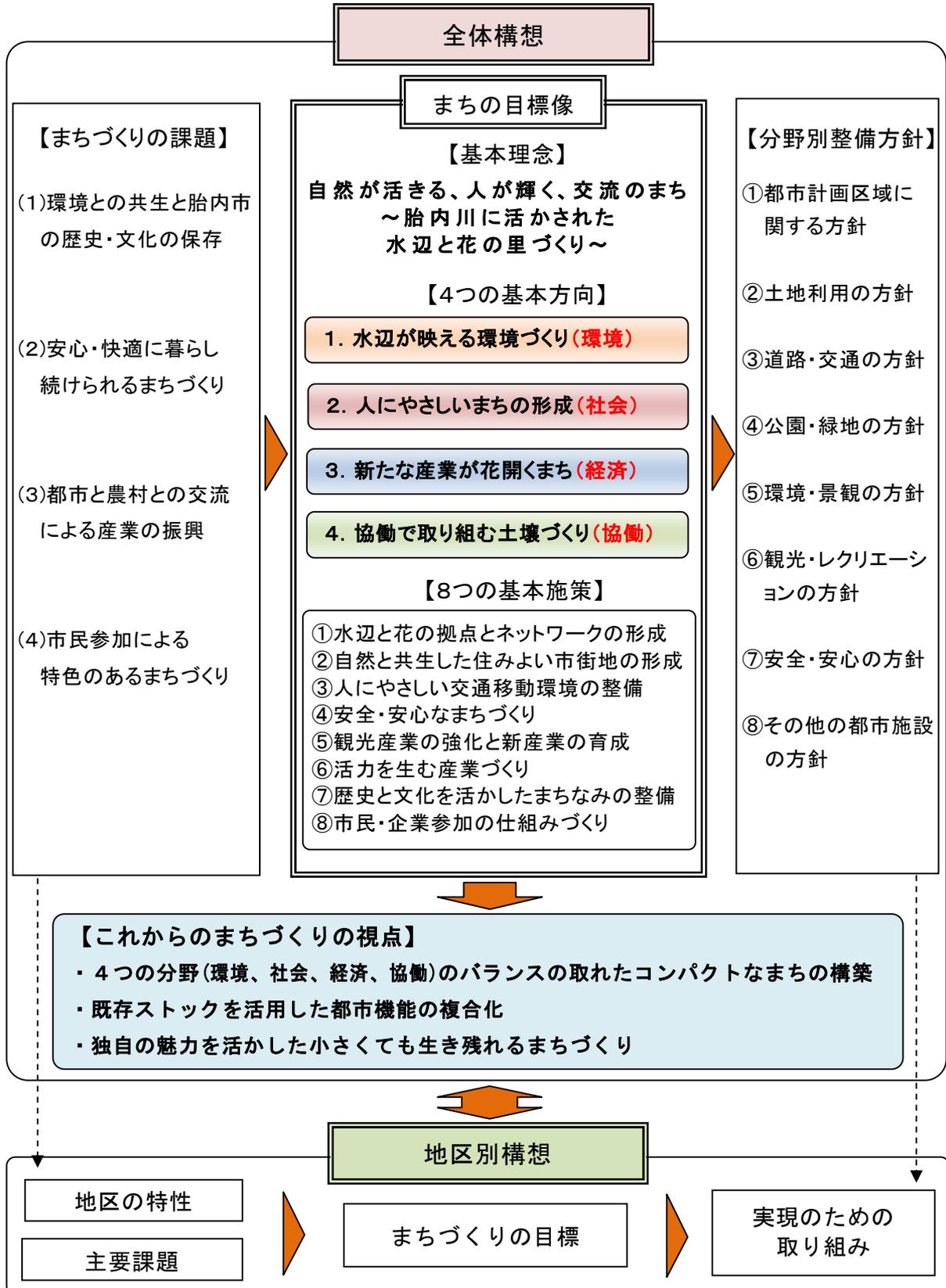


図 3-1 地区区分図

### (3) 全体構想と地区別構想の関連

地区別構想では、全体構想でのまちづくりの課題やまちの目標像、分野別整備方針を踏まえ、住民目線での主要課題やまちづくりの目標の設定、実現のための取り組みを示します。





### 【中条地区の人口】

中条地区の人口は、15,697人で市全体の約半分を占めています。

また、人口増加率の推移は、H12年と比較すると横ばいとなっています。一方、胎内市全体では減少傾向となっています。

胎内市全体	中条地区	割合(%)
32,040	15,697	49%

資料:住民基本台帳(H22.3.31)

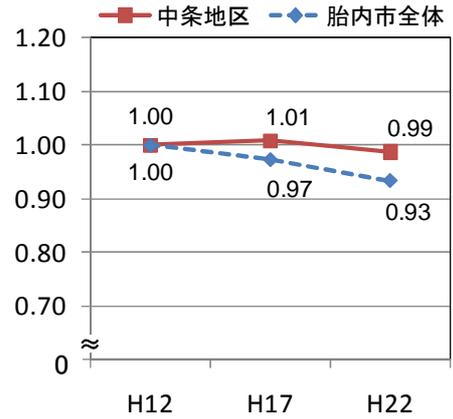


図 3-3 人口増加率の推移

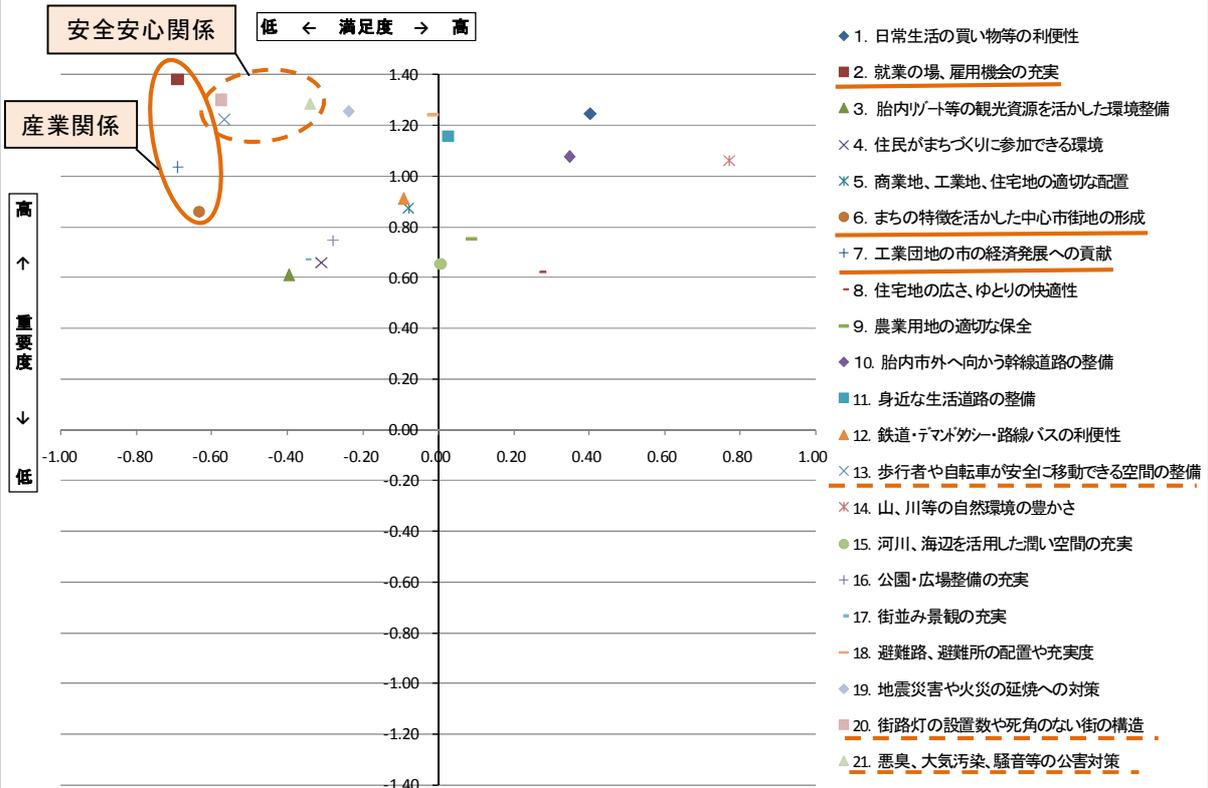
資料:住民基本台帳

## 3) 住民の意見

### 【市民アンケート調査結果】

満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安全安心関係が多くなっています。特に、「就業の場、雇用機会の充実」に対して、優先的な取り組みが求められています。

問 胎内市のまちづくりの現状に対する満足度・重要度についての回答



N=363

図 3-4 市民アンケート調査(中条地区)

(市民アンケート調査について)

・配付・回収時期:平成21年12月22日～平成22年1月8日

・配付数:3,000枚、回収数:1,266枚、回収率:42% (数値は、4地区の合計。)

## (2) 主要課題

中条地区の主要課題は、次の通りです。

### 1) 土地利用

- ① 中条駅西側や市役所周辺では、低・未利用地が存在しているため、必要に応じて計画的な住宅地の形成が求められています。
- ② 市街地周辺部や国道7号沿道では、基盤整備が不十分なまま農地や商業地、住宅地が混在した地域が見られるため、土地利用の適切な誘導と現状に合った土地利用が求められています。
- ③ 本町通り商店街の持つ個性と国道7号沿いの大型店の持つ集客力が連携を図り魅力ある商業地の形成が求められています。
- ④ 地区の北部にある新潟中条中核工業団地への企業の進出は十分とはいえず、環境産業等の新たな産業の成長分野を取り込んだ活用が求められています。
- ⑤ 中条駅の西側は、医療保健福祉機能や居住機能を強化し、西側の交流拠点として中条駅西口広場の整備が求められています。
- ⑥ 西部に広がる農地では、耕地面積の減少が続くことが想定されるため、適切な保全とともに農業体験の機会を提供する場等の新たな活用が求められています。

### 2) 道路・交通

- ① J R羽越本線の線路を横断する市街地内の道路は平面交差となっており、冬期間や悪天候の日には渋滞が発生しているため、線路を挟んだ東西の移動環境を容易にする整備が求められています。(都市計画道路3.4.6西町線)
- ② 都市計画道路3.4.7本町通り線をはじめとした市街地内の道路は、中条駅や国道7号へのアクセス向上が求められています。
- ③ 市街地内の長期未着手道路(20年以上未着手となっている道路)である都市計画道路3.4.5東中央通り線、3.4.8五輪線は市民の意向を踏まえながら、見直しの検討が求められています。
- ④ 小学校や中学校の通学路等の生活に密着した道路については、歩行者の安全確保が求められています。
- ⑤ 中条駅東口では、朝夕の送迎による渋滞が発生しており、公共交通の利用促進のための方策や中条駅西口広場の整備が求められています。
- ⑥ 国道7号の半山交差点等をはじめとした交差点では、渋滞の解消や安全のための方策づくりが求められています。

### 3) 公園・緑地

- ① 市街地ゾーンでは、身近な街区公園等の配置や遊具の充実が求められています。
- ② 胎内川では、水辺に触れ合える親水空間として、リバーサイドパークの充実が求められています。
- ③ 奥山の荘歴史の広場では、施設の積極的なPRと活用が求められます。

#### 4) 環境・景観

- ①市街地には奥山荘歴史館や歴史的建造物が数多く残されているため、景観計画の策定を視野に入れた、歴史と調和した景観づくりが求められています。
- ②まちなかの防火水路や中条川、柴橋川の水辺の生活景を活用した景観づくりが求められています。
- ③市街地周辺を流れる舟戸川では、生物の生息環境に配慮した水質の向上が求められています。
- ④市街地の道路空間や公園では、歩道の清掃や植栽の手入れ等の適切な環境整備が求められています。

#### 5) 観光・レクリエーション

- ①歴史的建造物や柴橋川から分岐する防火用水路等を活用し、歴史や水辺を活かした観光散策ルートの整備が求められています。
- ②商店街のおもてなしの充実や歴史や水辺の散策ルート等を案内する人材の育成が必要です。
- ③三八市開催時の周辺環境整備や集落単位の小さなまつりの保存が求められています。
- ④歴史的建造物やまちなかの水路の活用とともに、商店街とも連携したにぎわいづくりが必要です。
- ⑤楯形山脈や胎内川等の自然を活かした散策路やサイクリングロードの充実が求められます。

#### 6) 安全・安心

- ①中条駅や医療保健福祉施設、多くの人を訪れる観光施設を含むまちなかエリアでは、段差が無く滑りにくい歩道の整備とネットワーク化が求められています。
- ②学校の体育館など避難施設として指定されている公共公益施設については、救援、復旧、避難に必要な機能の充実が求められています。
- ③犯罪の予防のため、死角の除去や街路灯の設置が求められています。

#### 7) その他都市施設等

- ①海や河川の水質改善や環境保全を図るため、下水道の利用を推進する必要があります。
- ②胎内小学校の環境に優しい施設としてPRを検討する必要があります。
- ③中条体育館の規模の拡大を検討し、利用しやすい施設とすることが求められています。
- ④小学校の統合によって生じた旧小学校施設の有効活用の検討が求められています。



### (3) まちづくりの目標

## 住民が安心して暮らしやすく、にぎわいのあるまちづくり

—胎内市の中心としての充実、歴史の集積、三八市の充実—

#### ①水辺や歴史を活かしたまちづくり（環境）

市街地に張り巡らされた柴橋川から分岐する防火用水路やまちなかに数多く存在する歴史ある建物や土蔵を活かした魅力あるまちづくりを目指します。

#### ②お年寄りや子供が安心して暮らせるまちづくり（社会）

駅西側の交流拠点の整備や鉄道で挟まれた東西の移動環境の改善による買い物しやすいの向上、住宅地における裏通りの整備、身近な公園の整備等により、お年寄りや子供が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

#### ③地域の魅力や個性を活かしたにぎわいのあるまちづくり（経済）

三八市や中条まつり等の地域文化をまちづくりに活用するとともにまちなかでの新たな観光資源の発掘やツアーの実施等により、地域の魅力や個性を活かしたにぎわいのあるまちづくりを目指します。

### (4) 実現のための取り組み

#### 1) 土地利用

##### ①交流拠点の充実

- ・鉄道を挟んだ西側に新たに整備された住宅地の住民や医療福祉拠点の利用者等への対応、東西の交流促進のため、中条駅西口広場の整備を推進します。
- ・関沢地区の土地利用については、市街地内の遊休地の利用を優先としながら交流拠点の候補地として有効な活用の検討を進めます。

##### ②コンパクトなまちづくりの推進

- ・中条駅西側の遊休地では、交通拠点や商業、行政、医療保健福祉が近接する利便性の高い地区として住宅地等の整備を検討し、コンパクトなまちづくりを推進します。また、市街地内の遊休地である大川町地区や市役所周辺は、まちなか居住のための受け皿として位置づけ、必要に応じて整備の検討を行います。

##### ③魅力ある商業地の形成

- ・都市計画道路 3.4.7 本町通りの未整備区間については、人口減少や高齢化社会等を踏まえ検討するとともに、暮らしに必要な機能の集積や交流施設等の整備により魅力ある商業地を形成します。また、都市計画道路 3.4.6 西町線の整備により、線路を挟んだ西側の住民ニーズに対応した商業環境の形成を図ります。
- ・中条駅から本町までの商店街では、駅からのメインルートとして空き店舗の活用やまちなみの統一、各店のおもてなしの充実等により活性化を図ります。
- ・国道 7 号の沿道では、現況の土地の利用状況を踏まえ用途地域の変更を検討するとともに、未利用地の利用促進を図ります。

#### ④市街地周辺農地の保全・活用

- ・市街地周辺の農地では、農業の維持や発展を支えるとともに、新たな活用として農業体験等の機会を提供する場として検討を進めます。

### 2) 道路・交通

#### ①既存道路の活用

- ・長期未着手道路（都市計画道路 3.4.5 東中央通り線、3.4.8 五輪線）の見直しについて検討を進めるとともに、既存の道路を有効活用しポケットパークや中条駅から市役所まで案内サイン等を設置することにより、誘導ルートを明確にします。

#### ②東西を結ぶ道路の整備

- ・都市計画道路 3.4.6 西町線は、西側の医療保健福祉拠点や住宅地と東側の商業地や公共公益施設、まちなかの観光エリアを結ぶ重要な道路として位置づけ、連絡性の向上を図ります。また、渋滞が発生する踏切については、踏切歩道の拡幅や高度な踏切遮断システムの導入により交通の円滑化を検討します。

#### ③生活に密着した裏通りの整備

- ・住宅地における裏通りについては、ハンプの設置や速度規制等により、歩行者優先の道路整備を進め、子供やお年寄りが安心して通れるみちづくりを進めます。

### 3) 公園・緑地

#### ①子供が安全で楽しく遊べる公園づくり

- ・市街地部では、子供が安全で楽しく遊べる公園の充実やポケットパークの整備を進めます。
- ・また、住民は利用しやすい公園とするため、積極的に維持管理に係わるよう努めます。

#### ②自然や歴史を活かした交流の場を整備する

- ・楡形山脈では、登山等を中心として身近な自然と触れ合える環境づくりを進めます。
- ・奥山の荘歴史の広場では、都市部の住民との交流の場として積極的に活用するとともに、荘園の歴史についても広報を進めます。

### 4) 環境・景観

#### ①水辺を活かしたまちづくり

- ・住宅地の脇を流れる中条川、柴橋川や市街地内に張り巡らされた防火用水路を活用した水辺散策ルートの形成や水辺のオープンカフェ等を整備し水辺を活かしたまちづくりを進めます。

#### ②古い建物を活かしたまちづくり

- ・市街地周辺には、歴史ある建物や土蔵などが数多く存在するため、景観計画の策定や都市計画法や建築基準法に基づいた規制を検討し、良好な景観づくりを進めます。

## 5) 観光・レクリエーション

### ①歴史や文化を活かしたまちづくり

- ・まちなかの歴史的建造物の保存や三八市、中条まつり等の地域文化を継承し、歴史や文化を活用した賑わいのあるまちづくりを進めます。また、住民はそのまつり等に積極的に参加し、地域のコミュニケーションを図るとともに、文化の継承に努めます。

### ②独自の魅力や個性を創出する

- ・まちなかの水路や歴史的建造物を案内する新たな観光資源を発掘するとともに、ツアーの実施や既存の商店街のおもてなしを充実させ個性の創出に努めます。
- ・また、観光施設へのサインの設置による案内のわかりやすさやサイクリングロードの充実により、各地域に存在する観光施設間の連携を図り、回遊性の向上に努めます。

## 6) 安全・安心

### ①安全で安心な生活環境づくり

- ・高齢者化社会の進展にむけ、高齢者が安全に生活するため、公共施設や医療健康福祉施設へのバリアフリー化を進めます。
- ・防犯対策では、道路、公園との植栽について周囲からの見通しを確保するよう配慮するとともに防犯灯の設置や適切な維持管理に努めます。

## 7) その他都市施設等

### ①低炭素地域づくり

- ・地球規模の温暖化に対応するため、低炭素都市づくりガイドラインを活用するとともに、風力発電施設をシンボルとした低炭素化の取り組みを検討します。

### ②公共施設の有効利用

- ・学校の統合により生じる旧小学校施設については、生涯学習や地区のコミュニティ形成の拠点として活用を進めます。

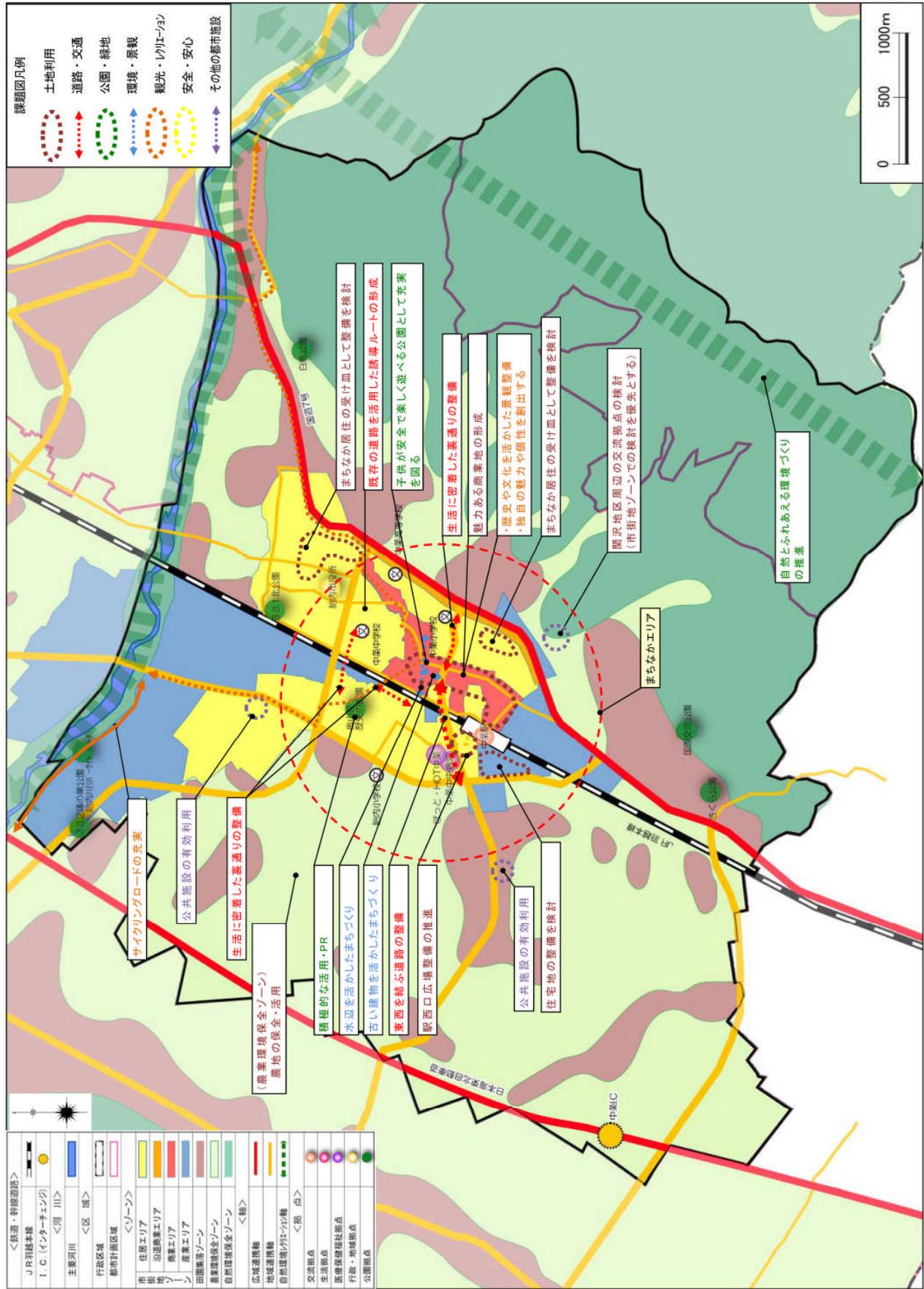


図 3-6 まちづくり方針図 (中条地区)

### 3. 築地地区

#### (1) 地区の特性

##### 1) 全体構想からみた地区の位置付け

築地地区は、国道113号、主要地方道、一般県道沿いに田園集落ゾーンが位置づけられています。日本海側の海岸線は、自然環境保全ゾーンに、地区の東側に広がる農地は農業環境保全ゾーンに位置づけられています。

また、南北に縦断する日本海東北自動車道と国道113号が広域連携軸に、地区内を縦横断する主要地方道と一般県道が地域連携軸に位置づけられています。

海岸線の森林と胎内川は、自然環境レクリエーション軸として、位置づけられています。

##### 2) 現況特性

###### 【築地地区の概要】

築地地区は、県北の産業拠点として、新潟中条中核工業団地が整備されています。また、日本海東北自動車道の中条ICが建設され、新潟都市圏からのアクセスが大変良くなりました。

白砂青松の美しい海岸線やチューリップ畑、新鮮な農産物等の地域資源が数多くあります。

市民アンケート調査では、満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安心安全関係が多くなっています。

特に、「悪臭、大気汚染、騒音等の公害対策」に対して優先的な取り組みが求められています。



写真 3-2 チューリップフェスティバル



図 3-7 現況図 (築地地区)

### 【築地地区の人口】

築地地区の人口は、5,426人で、胎内市全体の約17%を占めています。

人口増加率の推移は、H12年と比較すると減少傾向にあります。また、胎内市全体と比較すると減少率が大きくなっています。

胎内市全体	築地地区	割合(%)
32,040	5,426	17%

資料:住民基本台帳(H22.3.31)

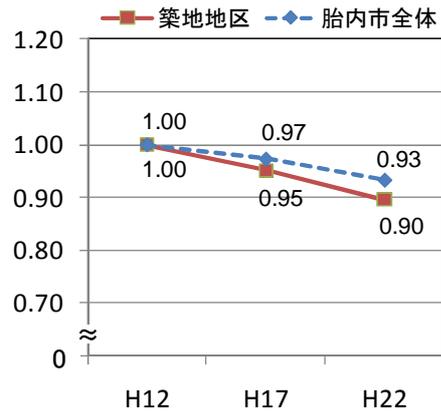


図 3-8 人口増加率の推移

資料:住民基本台帳

### 3) 住民の意見

#### 【市民アンケート調査結果】

満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安全安心関係が多くなっています。特に、「悪臭、大気汚染、騒音等の公害対策」に対して、優先的な取り組みが求められています。

問 胎内市のまちづくりの現状に対する満足度・重要度についての回答

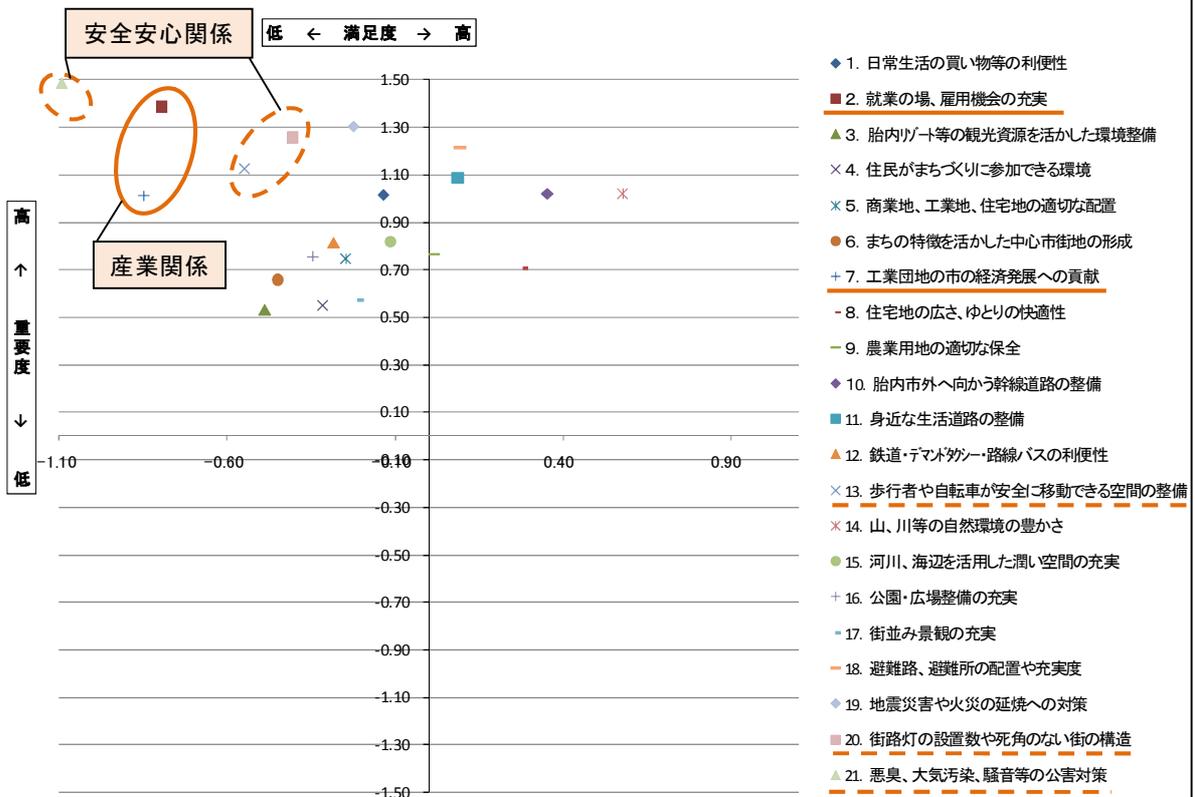


図 3-9 市民アンケート調査 (築地地区)

N=264

#### 【市民アンケート調査結果】

・配付・回収時期:平成 21 年 12 月 22 日～平成 22 年 1 月 8 日

・配付数:3,000 枚、回収数:1,266 枚、回収率:42% (数値は、4 地区の合計。)

## (2) 主要課題

築地地区の主要課題は、次の通りです。

### 1) 土地利用

- ①地区の北部にある新潟中条中核工業団地への企業の進出は十分とはいえず、環境産業等の新たな産業の成長分野を取り込んだ活用が求められています。
- ②集落周辺では、都市部と農村との交流を促進し、グリーン・ツーリズムや農業体験等の地域拠点としての整備が求められています。
- ③東部に広がる農地では、耕地面積の減少が続くことが想定されるため、適切な保全とともに、農業体験の機会を提供する場等、新たな活用・支援が求められています。

### 2) 道路・交通

- ①日本海東北自動車道や国道113号の広域幹線道路を基本に、観光拠点や公共公益施設への分かり易いネットワークの形成が求められています。
- ②公共交通手段を充実させることにより、市民や観光客が移動する上での利便性及び回遊性の向上が求められています。
- ③周辺景観と調和の取れた、観光施設への案内サイン設置が求められています。
- ④主要地方道新潟新発田村上線では、歩行者や近隣住民にとって安全な道路の整備改善、見通しの良い交差点の整備改善が求められています。
- ⑤落堀川沿いの藤塚浜工業団地へ通じる農道では、交通量の抑制とマナー向上が求められています。

### 3) 公園・緑地

- ①海岸線の森林は、防砂林としての機能を果たすとともに積極的な保全・復元が求められています。
- ②長池公園周辺は、水辺環境の保全や周辺の松林の保全を行い、自然を体験できる場として整備が求められています。

### 4) 環境・景観

- ①東部に広がる農地では、生物が生息し続ける適切な維持管理が求められています。
- ②白砂青松の海岸線は、貴重な景観要素として保全・復元が求められています。
- ③良好な生活環境の維持や水生生物の生息域の確保のため、良好な水辺環境の維持が求められています。
- ④築地小学校周辺では、強風による飛砂の防止が求められています。
- ⑤畜産事業所からの臭気低減方策を更に進めることによる、生活環境の改善が求められています。

## 5) 観光・レクリエーション

- ①塩の湯温泉は、観光客の日帰り温泉施設として、機能の充実が求められています。
- ②特産品のイメージアップや新たなブランド品の開発により、農業部門と連携した観光産業の活性化が求められています。
- ③チューリップフェスティバルでは、多くの観光客が訪れていますが、さらに地域の経済への波及効果の向上が求められています。

## 6) 安全・安心

- ①学校の体育館等、避難施設として指定されている公共公益施設については、救援、復旧、避難に必要な機能の充実が求められています。
- ②犯罪の予防のため、死角の除去やスクールゾーンへの街路灯の設置が求められています。
- ③消防団による地域の防災・防犯への積極的な取り組みの検討が求められています。
- ④近年多発する自然災害に対応するため、落堀川をはじめとした河川の防災対策が求められています。

## 7) その他の都市施設等

- ①海岸線において、風力発電施設の設置を推進します。
- ②農地では、排水路の整備が求められています。



図 3-10 主要課題図 (築地地区)

### (3) まちづくりの目標

## 人と自然が調和した交流のあるまちづくり —景観を活かす海岸線の保全、チューリップフェスティバルの活性化—

#### ①安全で生活しやすいまちづくり（環境）

通学路や公共施設へのアクセス路においては、歩行者や自転車利用者にとって安全な道路空間の整備を図るとともに、集落周辺では悪臭防止に努め、安全で生活しやすいまちづくりを目指します。

#### ②豊かな自然と調和した集落づくり（社会）

集落では、防風林の機能を果たす周辺の森林と周辺農地を保全し、自然と調和した集落づくりを目指します。

#### ③チューリップを活かした交流のあるまちづくり（経済）

チューリップフェスティバル等の充実や周辺観光施設との連携を図り、交流のあるまちづくりを目指します。

### (4) 実現のための取り組み

#### 1) 土地利用

##### ①自然と調和した集落づくり

・地区では、防風林の機能を果たす周辺の森林と、田園景観を構成する農地を保全し、自然と調和した集落づくりを進めます。

##### ②農地の適切な保全と新たな活用

- ・集落を囲む農地は、農業施策を推進するための農業振興基本計画と連携し、維持、保全に努めます。
- ・長池公園周辺では、地区外との交流拠点となる農業体験の場の創出を図ります。

##### ③新たな成長産業の誘致

・新潟中条中核工業団地は、自然と共生する工業団地として風力発電等の新エネルギー産業等の誘致を進めます。

#### 2) 道路・交通

##### ①地域の生活に配慮したみちづくり

- ・通学路や公共施設へのアクセス路においては、ハンプの設置やカラー舗装等により歩行者や自転車利用者にとって安全・安心な道路空間の整備を進めます。
- ・危険な交差点については、周囲の見通しを確保した交差点へ改良する等、地域の生活に配慮したみちづくりを進めます。
- ・日本海東北自動車道の交通アクセスを活かし、中条 IC から長池公園や塩の湯温泉等の主要観光地までの区間には案内・誘導サインを設置する等、メインルートの明確化を図ります。

##### ②地域に適した持続可能な交通体系の構築

・デマンドタクシーをはじめとする公共交通手段等の充実を図り、すべての市民にと

って外出しやすい環境を整えることにより、社会参加の機会を広げるとともに、地域のにぎわいを創出します。あわせて観光施策と連携しながら、魅力的なまちづくりに繋がります。

### 3) 公園・緑地

#### ①自然とふれ合える環境づくり

- ・海岸線や長池公園では、生物の生息・生育地の確保、景観への配慮から、松林の保全や復元に努めるとともに、水辺とふれ合える子供の遊び場として充実に図ります。

### 4) 環境・景観

#### ①自然景観の保全

- ・白砂青松の良好な景観を持つ里海（沿岸海域及び隣接する区域）では、陸域と沿岸域を一体的に管理・保全します。また、夕日を楽しめる場の創出を図ります。

#### ②生活環境の向上

- ・強風による飛砂を防止するほか、畜産事業所からの臭気低減に向け、現在策定中の環境基本計画において、更なる改善を図ります。

#### ③循環型社会の形成

- ・地区における家畜糞尿や生活活動に伴う生ゴミ等の有機資源を活用したサイクルを構築するとともに、バイオマスタウン構想と連携し、循環型社会の形成に努めます。

### 5) 観光・レクリエーション

#### ①チューリップを活かした観光産業の活性化

- ・チューリップフェスティバルが開催される長池公園周辺や塩の湯温泉等の既存ストックを活かし、観光散策ルートの開発を進めます。
- ・長池公園は、観光交流拠点としての充実に図ります。
- ・季節の花を活用した、花いっぱい運動を市民主導により展開を図ります。

#### ②農業、漁業部門との連携

- ・イベントでは、地域参画型の取り組みを行う中で基幹産業である農業や漁業との連携について検討します。
- ・やわ肌ネギやチューリップ等の既存商品の品質向上や、新たなブランド品の開発を推進し、創意工夫に満ちたその地域ならではの新たな観光資源づくりに努めます。

### 6) 安全・安心

#### ①地域内の共助と施設整備の促進による防災・防犯の機能強化

- ・通学路への街路灯の設置等により、人の目を確保する地域づくりを進めます。
- ・防災・防犯への共助活動として消防団、警察、PTA 等が連携し、地域コミュニティによるエリアマネジメントを目指します。
- ・河川の氾濫については、予防的な治水対策として河道の掘削等を計画的に進めます。

### 7) その他都市施設等

#### ①公共施設の有効活用

- ・築地小学校跡地や竹嶋小学校跡地、村松浜小学校跡地、高浜小学校跡地は、子供達や地区住民が集まる交流拠点として活用します。

#### ②風力発電の導入

- ・海岸線では風力発電のための風車を設置し、自然エネルギーの利用を図ります。

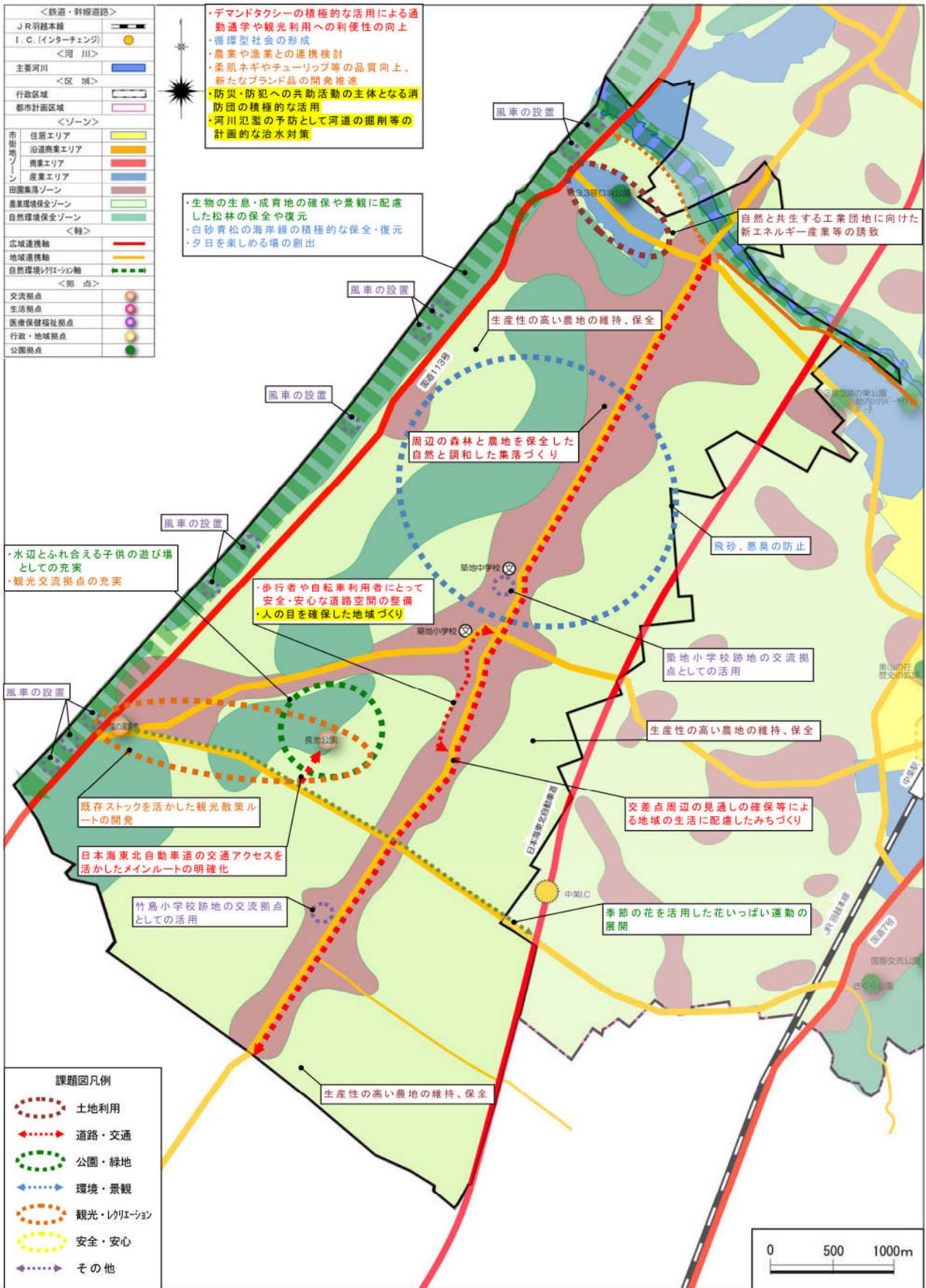


図 3-11 まちづくり方針図（築地地区）

## 4. 乙地区

### (1) 地区の特性

#### 1) 全体構想からみた地区の位置付け

乙地区は、平木田駅周辺と胎内川沿いの2つの工業団地が市街地ゾーンに位置づけられています。また、主要地方道、一般県道沿いに田園集落ゾーンが広がります。さらに田園集落ゾーンを囲む農地が農業環境保全ゾーンに位置づけられています。

南北に縦断する JR 羽越本線が鉄道軸、日本海東北自動車道と国道 113 号が広域連携軸、縦横断する主要地方道と一般県道が地域連携軸に位置づけられています。

海岸線の森林と胎内川は、自然環境レクリエーション軸として、位置づけられています。

#### 2) 現況特性

##### 【乙地区の概要】

乙地区は、国の重要文化財である三重塔がある乙宝寺や登録有形文化財等歴史のある建物が数多くあります。

また、胎内川の伏流水で形成される湿地帯には、水芭蕉の群生や希少な水生生物であるイバラトミヨが生息しています。

市民アンケート調査では、満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安全安心関係が多くなっています。

特に、「就業の場、雇用機会の充実」に対して、優先的な取り組みが求められています。



写真 3-3 乙宝寺三重塔



図 3-12 現況図 (乙地区)

【乙地区の人口】

乙地区の人口は、5,156人で、胎内市全体の約16%を占めています。

人口増加率の推移は、H12年と比較すると減少傾向にあります。また、胎内市全体と比較すると減少率が大きくなっています。

胎内市全体	乙地区	割合(%)
32,040	5,156	16%

資料:住民基本台帳(H22.3.31)

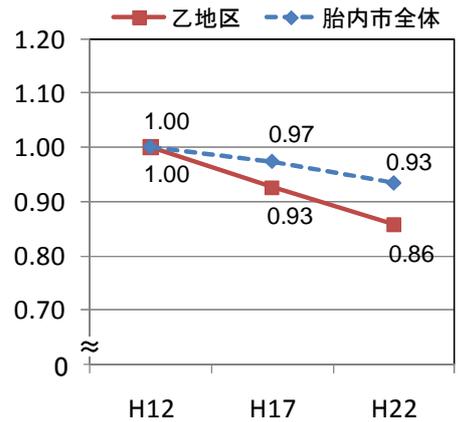


図 3-13 人口増加率の推移

資料:住民基本台帳

3) 住民の意見

【市民アンケート調査結果】

満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安全安心関係が多くなっています。特に、「就業の場、雇用機会の充実」に対して、優先的な取り組みが求められています。

問 胎内市のまちづくりの現状に対する満足度・重要度についての回答

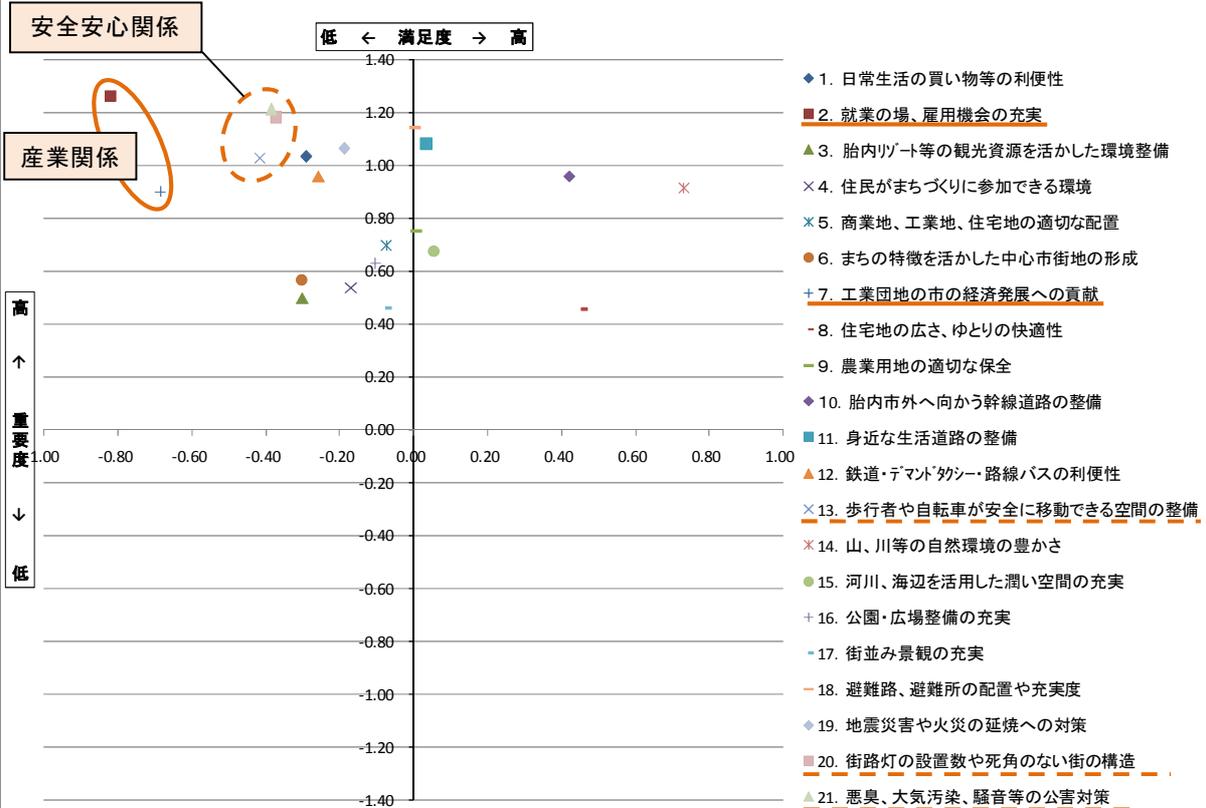


図 3-14 市民アンケート調査 (乙地区)

N=277

【市民アンケート調査結果】

- ・配付・回収時期:平成 21 年 12 月 22 日～平成 22 年 1 月 8 日
- ・配付数:3,000 枚、回収数:1,266 枚、回収率:42% (数値は、4 地区の合計。)

## (2) 主要課題

乙地区の主な課題は、次の通りです。

### 1) 土地利用

- ①集落周辺では、都市部と農村部との交流を促進し、グリーン・ツーリズムや農業体験等の地域拠点としての整備が求められています。
- ②東部に広がる農地では、耕地面積の減少が続くことが想定されるため、適切な保全とともに、農業体験の機会を提供する場等、新たな活用が求められています。
- ③平木田駅周辺の居住エリアでは、新築住宅が増加しており、今後も居住エリアへの立地による適切な土地利用が求められています。

### 2) 道路・交通

- ①日本海東北自動車道の荒川胎内 IC や国道 113 号の広域幹線道路を基本に、観光拠点や公共公益施設への分かり易いネットワークの形成が求められています。
- ②公共交通手段を充実させることにより、市民や観光客が移動する上での利便性及び回遊性の向上が求められています。
- ③周辺景観と調和の取れた、観光施設への案内サイン設置が求められています。

### 3) 公園・緑地

- ①海岸線の森林は、防砂林としての機能を果たすとともに積極的な保全・復元が求められています。
- ②地本の水芭蕉群生地は、自然と触れ合える場として整備の充実が求められています。
- ③集落周辺では、子供やお年寄りが利用しやすい公園整備が求められています。

### 4) 環境・景観

- ①胎内川の伏流水で形成される湿地帯には、水芭蕉の群生や希少な水生生物であるイバラトミヨが生息していることから、これらの水生生物の生息環境の保全が求められています。
- ②東部に広がる農地では、生物が生息し続ける適切な維持管理が求められています。
- ③乙宝寺や登録有形文化財等を歴史的な景観要素として活用が求められています。
- ④海岸線の砂浜の浸食対策や松林の復元による白砂青松の景観の保全が求められています。
- ⑤集落周辺の家畜飼育施設では悪臭の防止等による生活環境の改善が求められます。
- ⑥海岸線の森林には、海浜植物が生息しており、松林の森林の保全とともに海浜植物の保全も求められています。
- ⑦道路脇や空き地等への不法投棄に対する対応が、求められています。

## 5) 観光・レクリエーション

- ①乙宝寺周辺は、観光交流拠点として位置づけ、きのと観光物産館の機能充実とともに乙宝寺ときのと観光物産館をつなぐ歩行者空間の形成が求められています。
- ②特産品のイメージアップや新たなブランド品の開発により、農業部門と連携した観光産業の活性化が求められています。
- ③地本の水芭蕉群生地に生息する湧水特有の貴重な水生生物の情報発信が求められています。
- ④子供やお年寄り等の健康増進のため、スポーツ施設の充実が求められています。

## 6) 安全・安心

- ①学校の体育館等、避難施設として指定されている公共公益施設については、救援、復旧、避難に必要な機能の充実が求められています。
- ②犯罪の予防のため、死角の除去や街路灯の設置が求められています。
- ③乙宝寺で行われる防災訓練を通じた共助の取り組みの充実が求められています。
- ④空き家が増加し、防災・防犯機能の低下が懸念されているため、地域のコミュニティの充実を図ることが求められています。

## 7) その他の都市施設等

- ①少子高齢化が進行する中、地域の担い手育成や人材の確保が必要です。
- ②地区内での子育て支援サービス等の育児環境の整備が必要です。
- ③きのと観光物産館前のどっこん水の湧水量の確保が必要です。

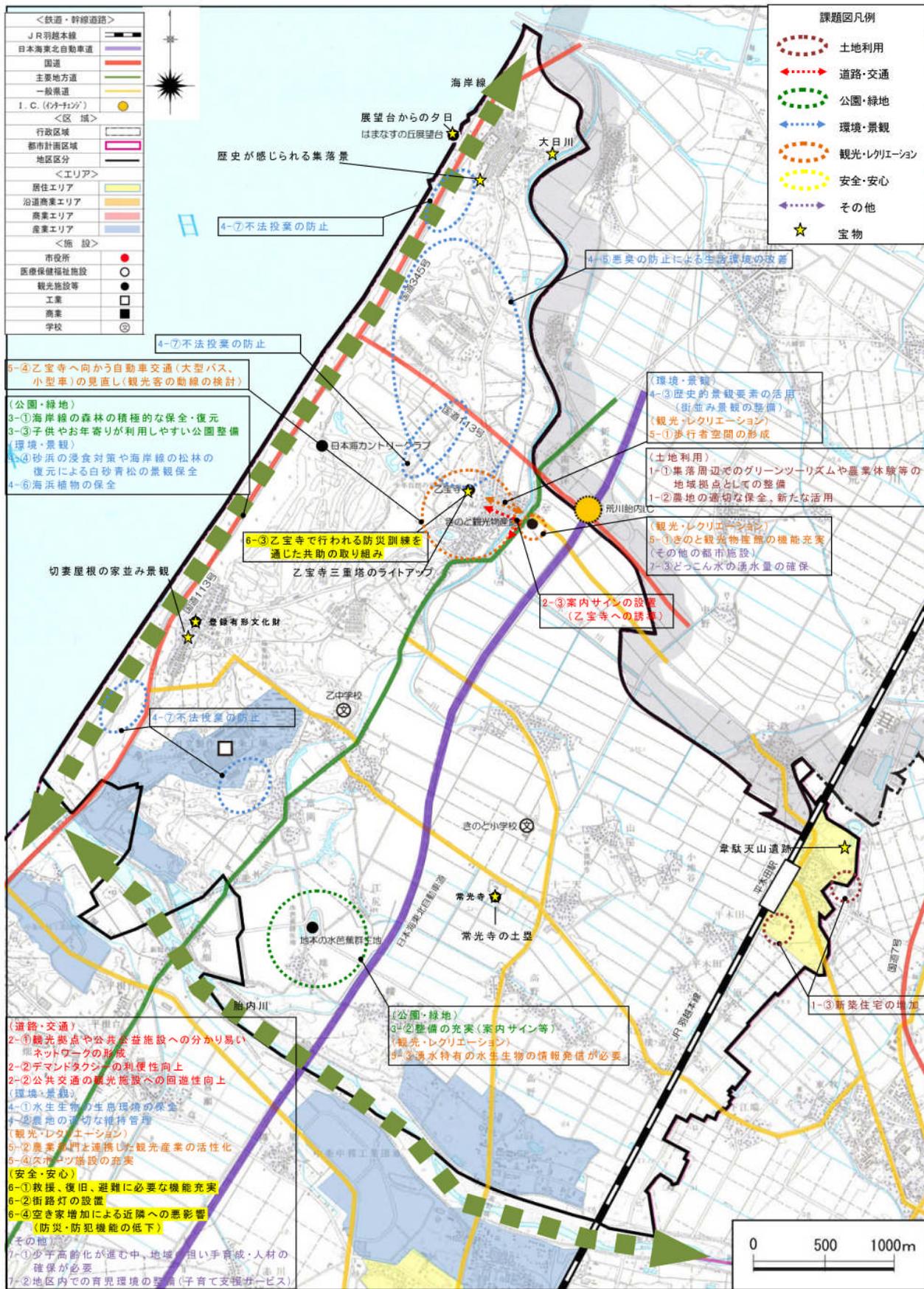


図 3-15 主要課題図 (乙地区)

### (3) まちづくりの目標

## 水と歴史と自然を活かした、住みよいまちづくり

－伏流水や乙宝寺、水芭蕉群生地の活用－

#### ①安心して住み続けられるまちづくり（環境）

自然や歴史と調和した集落景観を創出するとともに、集落周辺では悪臭防止に努め、安全で生活しやすいまちづくりを目指します。

#### ②水辺や自然とふれあえるまちづくり（社会）

地本の水芭蕉群生地や海岸線の松林を活用し、散策路の整備や貴重な生物の観察地等として水辺や自然とふれあえるまちづくりを目指します。

#### ③歴史を活かしたまちづくり（経済）

乙宝寺や集落に存在する歴史的建物を利用し、登録有形文化財等の活用により歴史を活かしたまちづくりを目指します。

### (4) 実現のための取り組み

#### 1) 土地利用

##### ①田園環境の保全

- ・海岸線の森林や集落を囲む農地を積極的に保全し、地区の田園環境の保全に努めます。
- ・地区内の集落では、集落固有の歴史的景観要素を保全しつつ、空き家情報登録制度（空き家バンク）等の検討により良好な居住環境の形成を進めます。

##### ②地区のシンボル拠点の充実

- ・乙宝寺周辺では、何気ない集落風景なども地域の価値として再認識し、きのと観光物産館から門前通りまでの区間の歩行空間や、きのと観光物産館の駐車場の拡幅等を進め、地区のシンボルにふさわしい景観整備について検討します。

#### 2) 道路・交通

##### ①歩行者にやさしいみちづくり

- ・通学路や公共施設、観光施設へのアクセス路においては、ハンプの設置やカラー舗装等により歩行者や自転車利用者にとって安全・安心な道路空間の整備を進めます。

##### ②地域に適した持続可能な交通体系の構築

- ・デマンドタクシーをはじめとする公共交通手段等の充実を図り、すべての市民にとって外出しやすい環境を整えることにより、社会参加の機会を広げるとともに、地域のにぎわいを創出します。あわせて観光施策と連携しながら、魅力的なまちづくりに繋がります。

##### ③地域の内外をつなぐ交通網の強化

- ・荒川胎内 IC から訪れる観光客が、きのと観光物産館や乙宝寺、地本の水芭蕉群生地等へ円滑に移動できるよう、メインルートを明確化し案内・誘導サインの設置を進めます。

### 3) 公園・緑地

#### ①自然とふれ合える場の整備

- ・海岸線の松林は、生物の生息・生育地の確保、景観への配慮から積極的に保全・復元し、防風林としての機能強化を図るとともに人が散策することのできるルートを検討します。
- ・地本の水芭蕉群生地は、イバラトミヨ等の貴重な水生生物を観察・学習できる緑地として保全します。

#### ②身近な憩いの場の充実

- ・集落ごとに立地する神社等を維持・保全し、地域住民の憩いの場や子供の遊び場としての機能の充実を図ります。

#### ③生物多様性の保全

- ・胎内川や湧水地等の陸水域は、生物多様性の重要な基盤となっているため、住民、企業、行政等多様な主体の参加による保全の取り組みに努めます。

### 4) 環境・景観

#### ①自然・歴史が創り出す景観の保全

- ・白砂青松の良好な景観を持つ里海（沿岸海域及び隣接する区域）では、陸域と沿岸域を一体的に管理・保全します。また、はまなすの丘展望台は、夕日を楽しめる場として充実を図ります。
- ・荒井浜の切妻の家並みや桃崎浜の集落は、文化財登録制度等を活用し歴史ある景観として保全します。

#### ②生活環境の改善

- ・畜産事業所からの臭気低減に向け、現在策定中の環境基本計画において、更なる改善を図ります。

#### ③循環型社会の形成

- ・地区における家畜糞尿や生活活動に伴う生ゴミ等の有機資源を活用したサイクルを構築するとともに、バイオマスタウン構想と連携し、循環型社会の形成に努めます。

### 5) 観光・レクリエーション

#### ①乙宝寺を地域拠点とした観光産業の活性化

- ・きのと観光物産館から乙宝寺までを歩行者空間として整備を進めるとともに、駐車場の整備など観光客が訪れやすい環境を整えます。

#### ②観光ネットワークの形成

- ・きのと観光物産館から乙宝寺、登録有形文化財等をつなぐ観光散策ルートづくりを進めるほか、胎内川の沿道の利用や観光施設を繋ぐ自転車ネットワークの形成を図ります。

### 6) 安全・安心

#### ①防災・防犯への取組みの充実

- ・乙宝寺で行われる防災訓練を支援するほか、消防団など市民主体の防災組織の機能強化に努めます。

#### ②防犯対策

- ・防犯対策は、街路灯の設置や地区で行っている見守りを継続します。



## 5. 黒川地区

### (1) 地区の特性

#### 1) 全体構想からみた地区の位置付け

黒川地区は、国道7号や国道290号、主要地方道沿いで田園集落ゾーンが広がります。その周辺の農地は、農業景観保全ゾーンに位置づけられ、さらにそれを取りかこむ楡形山脈や胎内周辺は、自然環境保全ゾーンとして位置づけられています。

国道7号と国道290号が広域連携軸に、主要地方道と一般県道が地域連携軸に位置づけられています。

さらに、南北に縦断する楡形山脈と胎内川が、自然環境レクリエーション軸に位置づけられています。

### 2) 現況特性

#### 【黒川地区の概要】

黒川地区は、黒川支所を中心として住宅地が形成されています。また、樽ヶ橋周辺には、クアハウスたいないや胎内観音等の観光施設があります。さらに、胎内リゾートには、スキー場、キャンプ場等の自然環境が楽しめる場やホテル、ハムやウインナー等の食品加工場等の施設があり、リゾート空間が形成されています。

市民アンケート調査では、満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安全安心関係が多くなっています。特に、「就業の場、雇用機会の充実」に対して、優先的な取り組みが求められています。



写真 3-4 ロイヤル胎内パークホテル

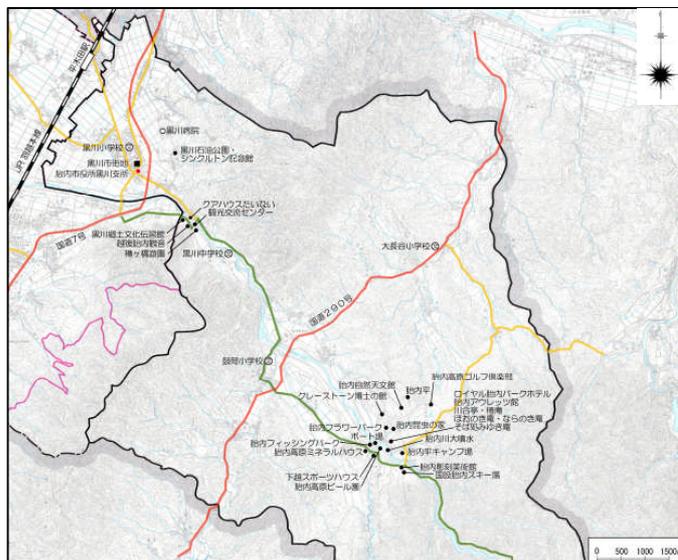


図 3-17 現況図（黒川地区）

＜鉄道・幹線道路＞	
JR羽越本線	
日本海東北自動車道	
国道	
主要地方道	
一般県道	
I.C.(ｲﾝﾀｰﾁｰｼﾞ)	
＜区 域＞	
行政区域	
都市計画区域	
地区区分	
＜施 設＞	
市役所	
医療保健福祉施設	
観光施設等	
工業	
商業	
学校	

### 【黒川地区の人口】

黒川地区の人口は、5,761人で、胎内市全体の約18%を占めています。

人口増加率の推移は、H12年と比較すると減少傾向にあります。また、胎内市全体と比較すると減少率が大きくなっています。

胎内市全体	黒川地区	割合(%)
32,040	5,761	18%

資料:住民基本台帳(H22.3.31)

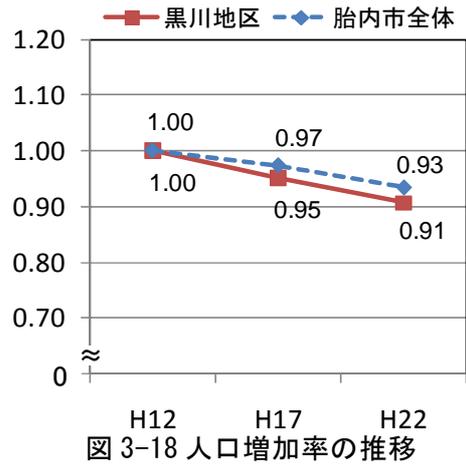


図 3-18 人口増加率の推移

資料:住民基本台帳

### 3) 住民の意見

#### 【市民アンケート調査結果】

満足度が低く、重要度が高い項目は、産業関係、安全安心関係が多くなっています。特に、「就業の場、雇用機会の充実」に対して、優先的な取り組みが求められています。

問 胎内市のまちづくりの現状に対する満足度・重要度についての回答

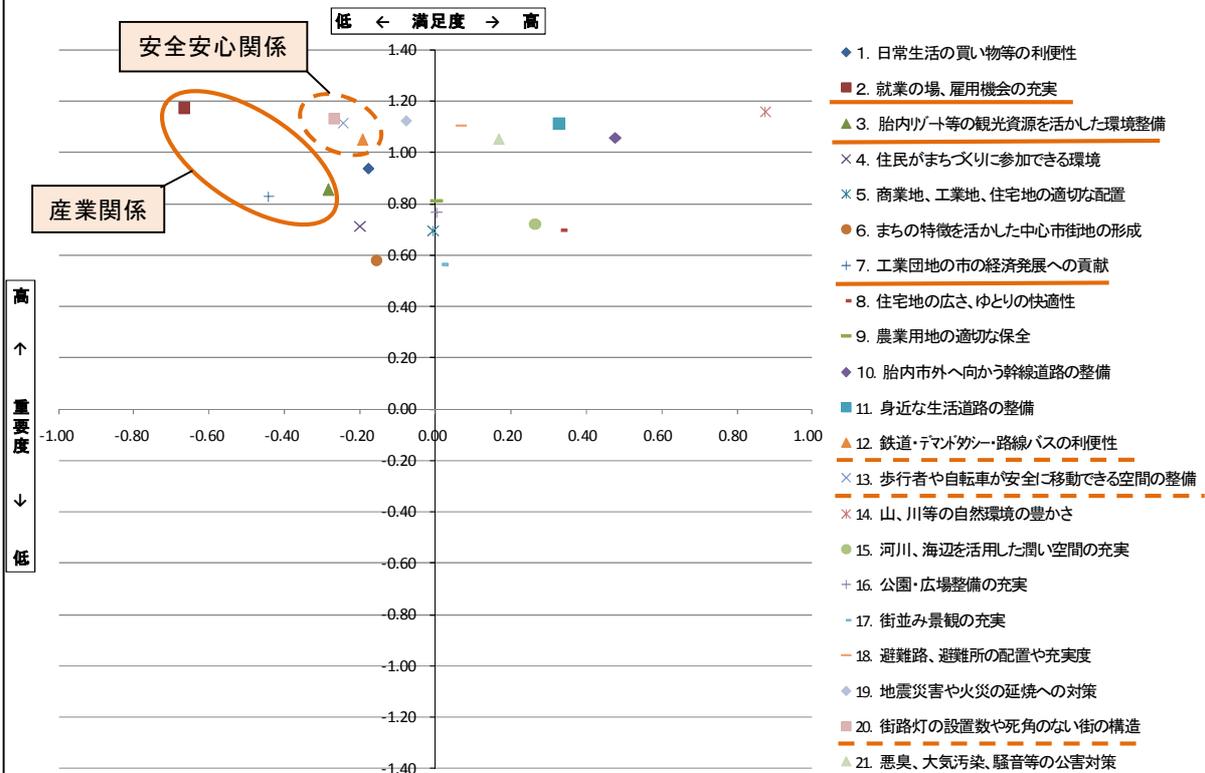


図 3-19 市民アンケート調査 (黒川地区)

N=343

#### 【市民アンケート調査結果】

- ・配付・回収時期:平成 21 年 12 月 22 日～平成 22 年 1 月 8 日
- ・配付数:3,000 枚、回収数:1,266 枚、回収率:42% (数値は、4 地区の合計。)

## (2) 主要課題（ワークショップより）

黒川地区の主な課題は、次の通りです。

### 1) 土地利用

- ①集落周辺では、都市部と農村部との交流を促進し、グリーン・ツーリズムや農業体験等の地域拠点としての整備が求められています。
- ②楡形山脈の森林や胎内川の河川は開発を抑制することを基本として多様な生物の生息域として適切な保全が求められています。また、豊かな自然環境を活かし、市民の憩いの場やレクリエーションの場として、土地利用を進めることが求められています。
- ③胎内リゾートは、自然体験やレクリエーションの拠点として施設の充実や観光客に対するおもてなしの体制を整えるとともに、良好な自然環境の中で立地することがなじまない施設等については、抑制を前提とし適切な土地利用が求められています。
- ④地区においては、奥山にある水源かんよう林の保全や奥山と集落の緩衝地となる里山の維持管理を適切に行うことによる、獣害の防止が求められています。
- ⑤黒川地区の国道7号は、生活環境の保全のため、適切な土地利用が求められています。

### 2) 道路・交通

- ①広域幹線道路や幹線道路の分かり易いネットワークの形成とともに周辺の自然景観に配慮した案内サインの統一が求められています。
- ②胎内リゾート周辺では、一体的に観光レクリエーションを楽しめるサイクリングロードやレンタサイクルの導入が求められています。
- ③公共交通手段を充実させることにより、市民や観光客が移動する上での利便性及び回遊性の向上が求められています。
- ④国道290号をはじめとした山間部の道路については、豊かな自然環境を満喫できるサイクリングロードの整備が求められます。

### 3) 公園・緑地

- ①胎内フラワーパーク等の花の拠点の充実が求められています。
- ②公共施設や街路等の緑化により花と緑のまちづくりが求められています。
- ③胎内川は、生きた自然の教科書として自然とふれあえる親水空間づくりが求められています。
- ④胎内リゾート周辺の施設は、有効に活用できるよう検討が求められています。

### 4) 環境・景観

- ①奥胎内にはイヌワシやクマタカ、ユキグニカンアオイ等貴重な動植物が多く生息しており、これらの生息し易い環境の保全が求められています。
- ②胎内川や楡形山脈、胎内溪谷等の自然景観の保全が求められています。
- ③夏井の頭首工の下流では、周辺の自然と調和した景観整備が求められます。

## 5) 観光・レクリエーション

- ①胎内リゾートの充実とともに周辺環境の維持や散策路の充実が求められています。
- ②樽ヶ橋では、観光交流センターを拠点とし、周辺施設と連携した観光交流拠点の充実が求められています。
- ③自然を紹介する案内人の育成が必要です。
- ④胎内リゾートや樽ヶ橋周辺の各施設と自然との連携が求められています。
- ⑤フルーツパークは、都市との交流に向けてさらなる充実が求められます。
- ⑥胎内リゾート周辺の物産施設では、地域ブランドの充実が求められます。
- ⑦胎内リゾートでは、グリーン・ツーリズム等を取り入れ、観光・レクリエーション拠点としての機能強化が必要です。
- ⑧地区内に分散する観光・交流施設相互の連携が求められています。

## 6) 安全・安心

- ①学校の体育館等、避難施設として指定されている公共公益施設については、救援、復旧、避難に必要な機能の充実が求められています。
- ②犯罪の予防のため、死角の除去や街路灯の設置が求められています。
- ③国道 290 号では、児童が安全に通学できる歩道の整備が求められています。
- ④集落や道路に出没する熊等の獣害の防止が求められています。

## 7) その他の都市施設等

- ①高齢化が進む地区の拠点として、福祉センターの充実が求められます。

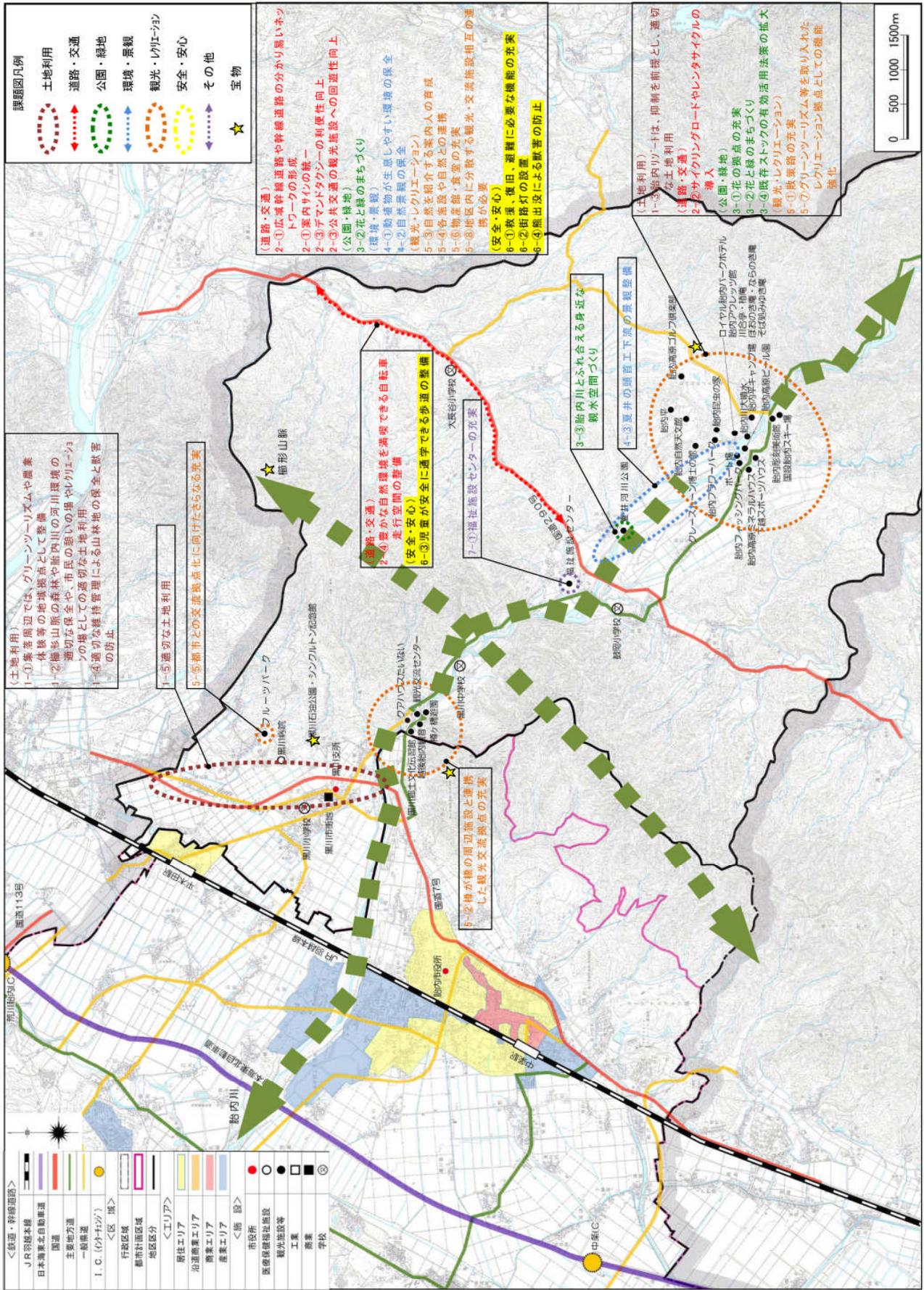


図 3-20 主要課題図 (黒川地区)

### (3) まちづくりの目標

## 水と緑と山に活かされるまちづくり

－胎内川と奥胎内の豊富な自然、飯豊連峰と調和した生活環境創出－

#### ①自然と共存する集落づくり（環境）

自然や農地の中で快適に暮らせるよう生活基盤の維持を図るとともに、良好な自然景観の保全に努め、自然と共存した集落づくりを目指します。

#### ②豊かな自然とふれあえるまちづくり（社会）

夏井河川公園や胎内川沿岸、胎内リゾートの周辺の森林等では、豊かな自然とふれあえるまちづくりを目指します。

#### ③観光資源を活かしたまちづくり（経済）

胎内リゾートや樽ヶ橋等の観光施設の充実を図るとともに、各施設の連携や自然を活用した着地型観光の充実等により、地区の観光資源を活かしたまちづくりを目指します。

### (4) 実現のための取り組み

#### 1) 土地利用

##### ①豊かな自然環境の保全

- ・奥胎内や楡形山脈の森林は、多様な生物の生息・生育の場や良好な自然景観を創出する場として積極的に保全します。

##### ②国道7号沿道の生活環境の保全

- ・黒川地区の国道7号沿道は、都市計画区域に含めることを検討し、無秩序な開発を防止するとともに、適切な土地利用による生活環境の保全に努めます。

##### ③暮らしやすい集落環境の形成

- ・自然や農地の中で快適に暮らせるように道路や公共交通等の生活基盤の維持に努めます。

##### ④奥山と里山の保全

- ・胎内川の水を育む水源涵養林や動物が生息する奥山の保全と奥山と集落の緩衝地である里山を適切に管理し、動物と人間の共存を目指し奥山と里山の保全に努めます。

#### 2) 道路・交通

##### ①胎内リゾートへのメインルートの整備

- ・日本海東北自動車道の延伸を受け、都市部からの観光客に対して胎内リゾートまでのメインルートを整備します。また、メインルートでは、道路標識や観光サイン等の整備を進め観光客の円滑な誘導を進めます。

##### ②地域に適した持続可能な交通体系の構築

- ・デマンドタクシーをはじめとする公共交通手段等の充実を図り、すべての市民にとって外出しやすい環境を整えることにより、社会参加の機会を広げるとともに、地域のにぎわいを創出します。あわせて観光施策と連携しながら、魅力的なまちづくりに繋がります。

### 3) 公園・緑地

#### ①自然と触れ合える場の整備

- ・夏井河川公園は、身近な自然空間として活用できるよう整備を進めるとともに、胎内川では自然と触れ合える場として整備を進めます。

#### ②夏井の大波石の周辺整備

- ・海底のプランクトンや泥が交互に層をなし、地殻変動によって波のように曲がって作られた大波石を積極的にPRするとともに訪れやすい環境整備を検討します。

#### ③生物多様性の保全

- ・胎内川や奥胎内の森林は、生物多様性の重要な基盤となっているため、住民、企業、行政等多様な主体の参加による保全の取り組みに努めます。

### 4) 環境・景観

#### ①胎内リゾート周辺の自然景観の保全

- ・胎内市全体を区域とした景観計画策定の検討を進め、胎内リゾート周辺についても良好な自然景観の保全に努めます。また、奥胎内や夏井の頭首工周辺についても眺めがよい場所の確保等、良好な景観づくりに努めます。

### 5) 観光・レクリエーション

#### ①胎内リゾート・樽ヶ橋の充実

- ・胎内リゾートや樽ヶ橋では、施設の充実とともに既に設置されている散策路やランニングコースと整合を図り、観光拠点としての充実を図ります。

#### ②観光施設との連携

- ・回遊性を高めるため、胎内リゾートや樽ヶ橋等の観光施設をつなぐルートでは、サイクリングロードの充実を図るとともにレンタサイクルの導入を進め観光拠点の連携の向上に努めます。

#### ③着地型観光の充実

- ・都市部住民との交流のためグリーン・ツーリズムの推進やイベントの開催、自然案内人の育成に努めます。また、都市部住民への積極的なPRを行います。

### 6) 安全・安心

#### ①安全で安心な生活環境の確保

- ・通学路では児童が安心して通学できるよう、歩道の設置や防犯灯の設置を進めます。

### 7) その他の都市施設等

#### ①公共施設の活用

- ・福祉施設や小学校等を地区の交流拠点として充実を図ります。

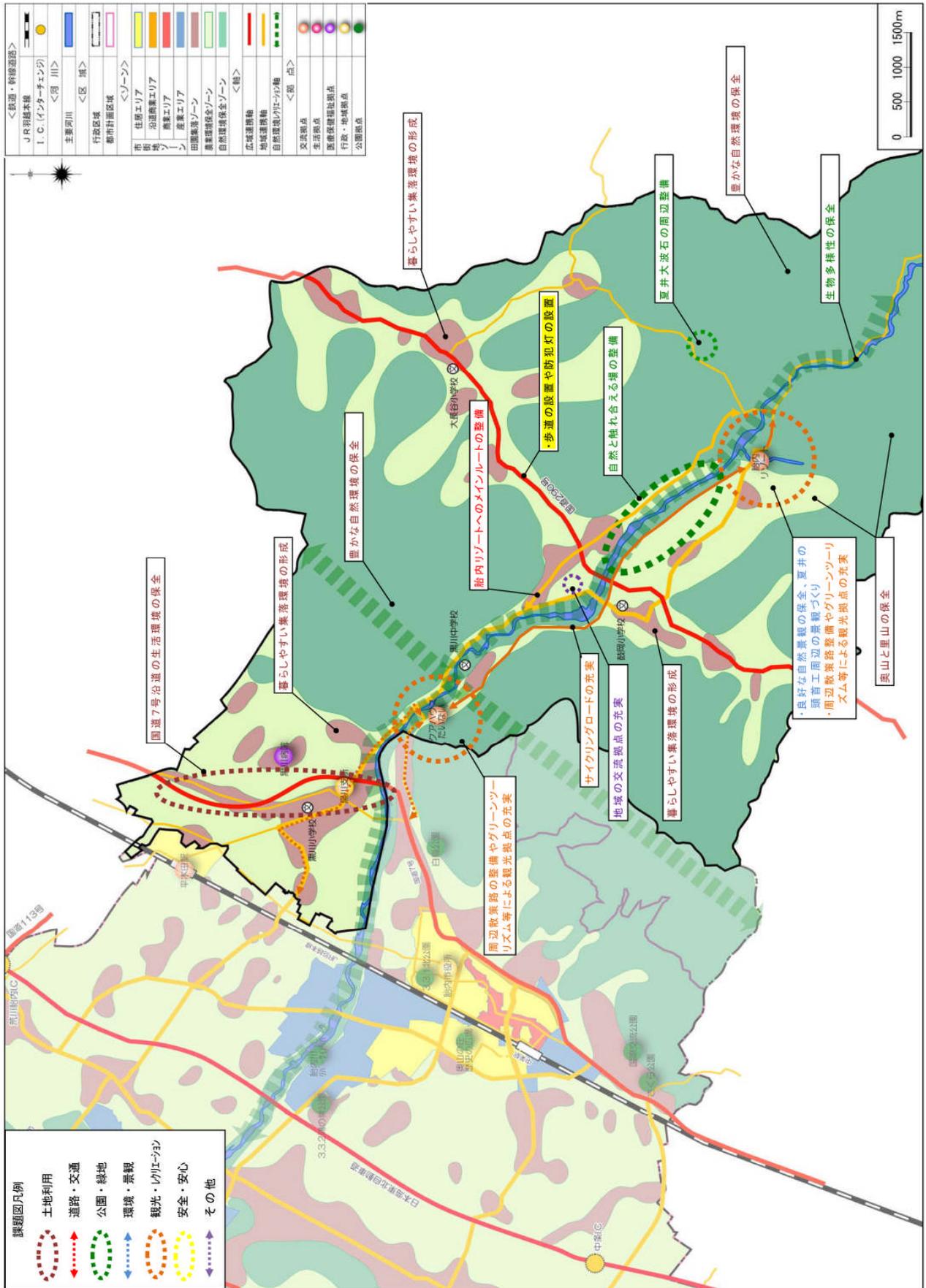


図3-21 まちづくり方針図(黒川地区)

## 第4章 実現化方策

### 1. 実現化方策とは

実現化方策は、全体構想や地区別構想に示した将来像を実現するために必要な協働のまちづくりの役割分担やその進め方、事業の推進スケジュール等を示すものです。

